

トルコ統一地方選挙速報と足元の投資環境

目先の材料を消化も、エルドアン大統領の政策運営を注視

2019年4月1日

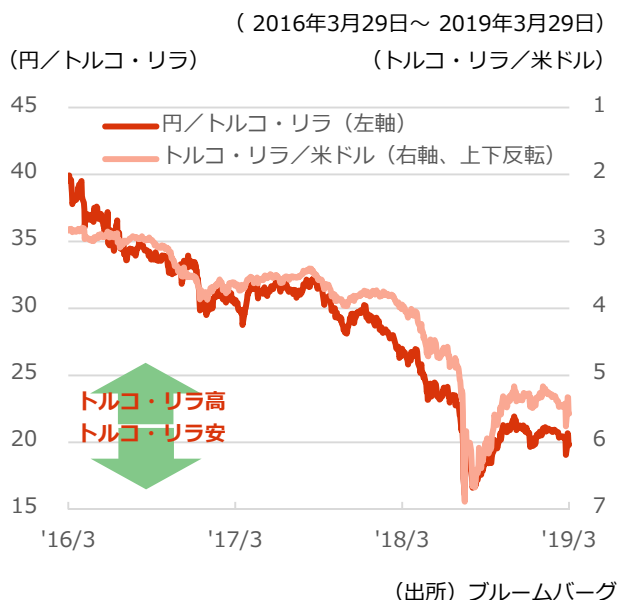
統一地方選挙通過は安心材料

3月31日（現地）、トルコで統一地方選挙が実施されました。市場で注目されていた主要都市の市長選挙については、首都アンカラでは与党AKP（公正発展党）の敗北が確実となっているほか、イスタンブールでは与野党がともに勝利宣言をするなど大接戦となっています。今回の選挙は現政権に対する信任投票という意味合いを持ち、トルコ経済が減速する中、AKPは厳しい選挙戦を強いられると予想されていました。

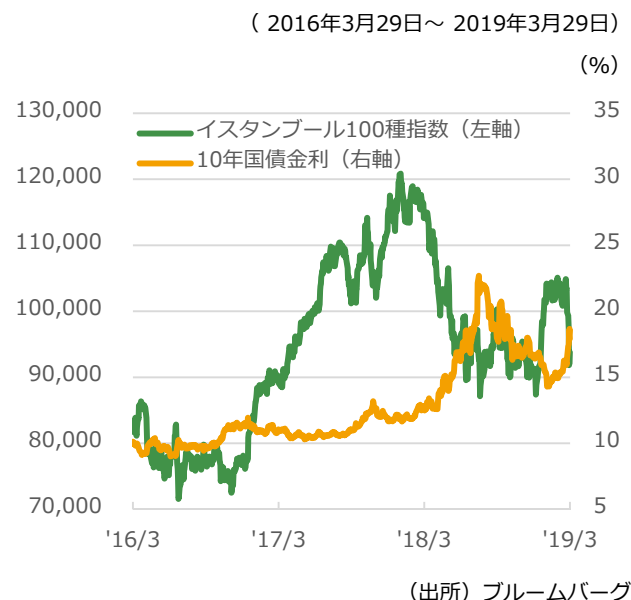
足元でトルコ株・債券は大きく下落しています。統一地方選挙を控え、エルドアン大統領がトルコ・リラの下落を防ぐために国内金融機関にトルコ・リラの貸し出し抑制圧力を強めた結果、トルコ・リラの流動性が枯渇するとの懸念が高まったためです。

市場が警戒していた統一地方選挙を通過したことはトルコ資産に一定の安心材料となりそうです。また、米国の金融政策スタンスが中立化したことも、トルコをはじめとして、新興国市場への追い風になると期待されます。リスク要因としては、エルドアン大統領がトルコ中央銀行に対して利下げ圧力を一層強める可能性や、追加の景気浮揚策による財政悪化の可能性が挙げられます。このため、エルドアン大統領の言動や政策運営には引き続き注意を払う必要があると考えています。

為替の推移



金利と株価の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。